

平成25年 3月期決算と
今後の取組みについて

平成25年5月

西京銀行

平成25年3月期決算について

- 業績ハイライト …… 3
- 中期経営計画の進捗状況 …… 4
- 損益の状況 …… 5
- 貸出金の状況 …… 6
- 預金と預り資産の状況 …… 7
- 有価証券運用 …… 8
- 不良債権の状況 …… 9
- 自己資本比率の推移 …… 10

今後の取組みについて

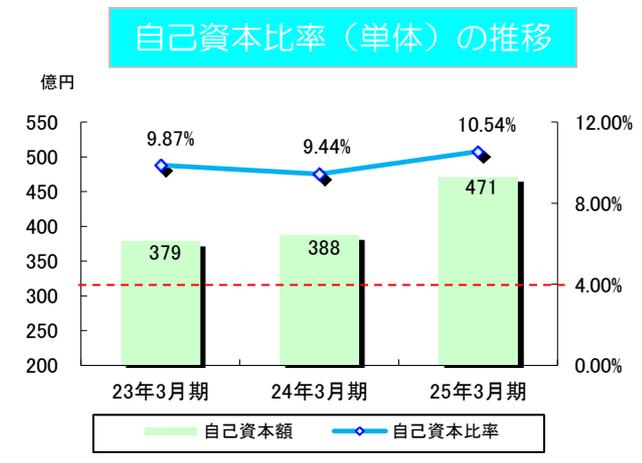
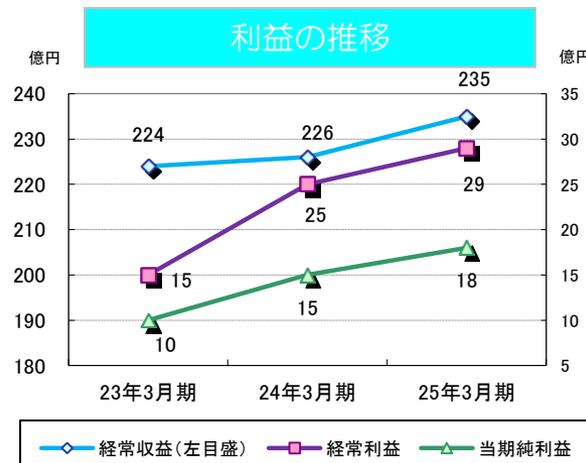
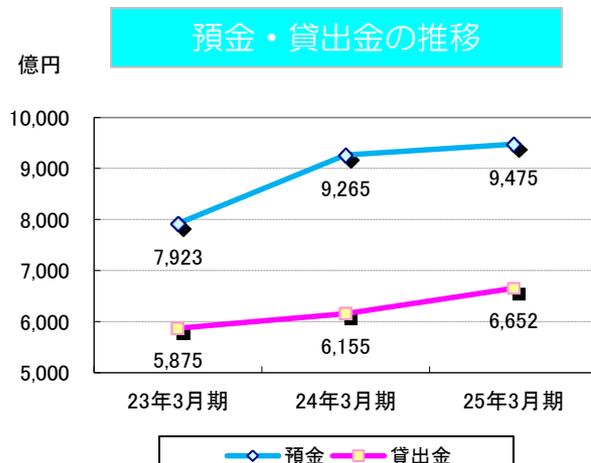
- 地域密着型金融に向けた取組み …… 12
- お客様のニーズにお応えするために …… 14

平成25年3月期決算について

業績ハイライト（単体）

当期におけるわが国の経済は、平成24年12月の政権交代以降、アベノミクスへの期待感から株価もリーマンショック以前の水準に回復し、円安傾向などもあり景気回復への期待感が増してきています。こうした中、当行では新中期経営計画、<一人でも多くのお客さまに「さすが西京」のサービスを（計画期間：平成24年4月～平成27年3月）>に基づき各施策へ積極的に取組んだ結果、預貸金収支の増強を主因に、**3期連続の増収増益決算**とすることができました。

- 預金残高は、山口県、広島県、福岡県の地元を中心に順調に伸張し、前期比209億円（増加率2.2%）増加して9,475億円となりました。貸出金残高は、中小企業向け、個人向け貸出を中心に前期比497億円（増加率8.0%）増加して6,652億円となりました。
- 経常収益は、前期比9億32百万円増加して235億39百万円に、経常利益は、前期比4億25百万円増加して29億97百万円となりました。また、**当期純利益は、前期比3億52百万円増加して18億60百万円となり、過去最高益を更新しました。**
- 単体自己資本比率は、前期比1.10ポイント上昇し、10.54%となり、依然として国内基準を大きく上回る水準を維持しています。



中期経営計画の進捗状況（平成24年4月～平成27年3月）



- ◆平成24年4月からの3年間の新中期経営計画期間において、「3つの挑戦」と計数目標を定めております。
- ◆実績は順調に推移しており、「3つの挑戦」と計数目標については、**平成25年3月期の目標を達成しております。**

項目		25/3期実績	25/3期	26/3期	27/3期
3つの挑戦	① 預金量1兆円以上	9,475億円	9,200億円	9,600億円	10,000億円
	② 預金のお客さま純増3万件以上	1万2,088件	1万件	2万件	3万件
	③ 新規融資事業所開拓3千件以上	1,915件	1,000件	2,000件	3,000件
計数目標	① コア業務純益	47億円	45億円	50億円	55億円
	② 自己資本比率	10.54%	9.50%	9.50%	9.50%

※コア業務純益 … 業務純益 - (国債等債券関係損益、一般貸倒引当金繰入、信託勘定償却)

※業務純益 … (資金運用収支 + 役務取引等収支 + その他業務収支) - 一般貸倒引当金繰入額 - 経費

損益の状況



(単位:億円)

	25年3月期		前期比
	24年3月期	増減額	
経常収益	235	226	9
業務粗利益	156	154	2
資金利益	162	153	9
役務取引等利益	△ 7	△ 4	△ 3
その他業務利益 (うち国債等債券関係損益)	1 (3)	6 (5)	△ 4 (△2)
経費 (△)	105	105	0
実質業務純益	51	49	1
コア業務純益	47	43	4
一般貸倒引当金繰入額 (△)	△ 2	△ 5	3
業務純益	53	54	△ 1
臨時損益	△ 23	△ 29	5
うち不良債権処理額 (△)	9	5	3
うち株式等関係損益	△ 11	△ 20	9
経常利益	29	25	4
特別損益	△ 0	△ 5	4
税引前当期純利益	29	20	8
法人税等合計 (△)	10	5	5
当期純利益	18	15	3

経常収益 前期比9億円増収 (5期連続)

● 経常収益は、貸出金利息の増加 (+7億円)、有価証券利息配当の増加 (+3億円) による資金運用収益の増加を主因に、前期比9億円増加の235億円となりました。

業務粗利益 前期比2億円増益 (5期連続)

● 業務粗利益は、役務取引等利益が減少 (△3億円) したものの、資金利益の増加 (+9億円) により、前期比2億円増加の156億円となりました。

コア業務純益 前期比4億円増益 (4期連続)

● 銀行本来の収益力を表すコア業務純益は、業務粗利益の増加 (+2億円) を主因に、前期比4億円増加の47億円となりました。

経常利益 前期比4億円増益 (3期連続)

● 経常利益は、不良債権処理額が増加 (+3億円) したものの、株式関係損益が改善 (+9億円) したことから、前期比4億円増加の29億円となりました。

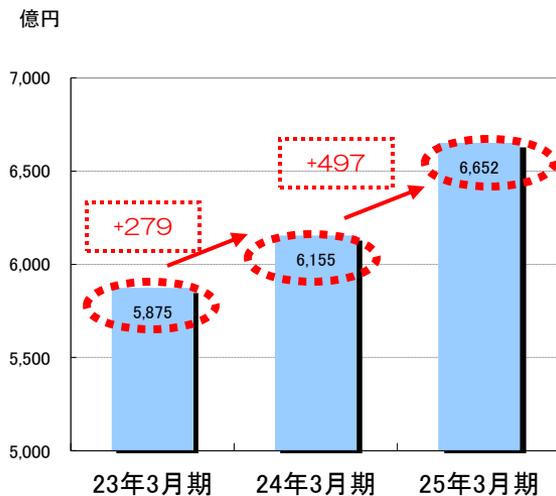
当期純利益 前期比3億円増益 (2期連続)

● 当期純利益は、特別損益も改善 (+4億円) したことから、前期比3億円増加の18億円となりました。

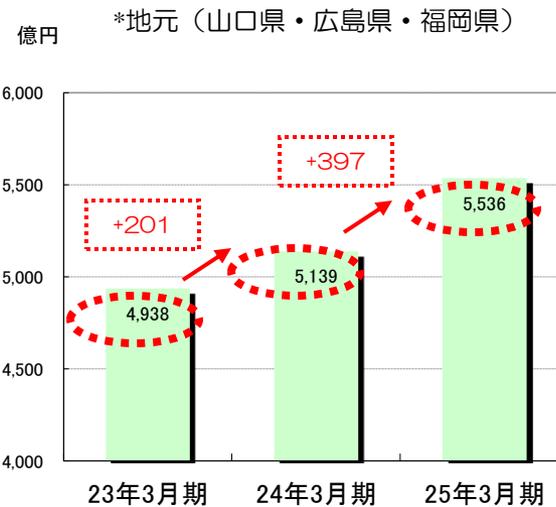
貸出金の状況 ～中小企業・個人向け取組み

- ◆貸出金は地元中小企業、個人向け貸出に積極的に取組み、前年同期比497億円増加しました。
- ◆中小企業向けには、新規事業所開拓専担部署として「法人営業グループ」、「キャラバン隊」の新設等が奏功し、383億円増加しました。
- ◆個人向けには、住宅ローン、教育ローン、オートローン等が好調に推移し147億円増加しました。

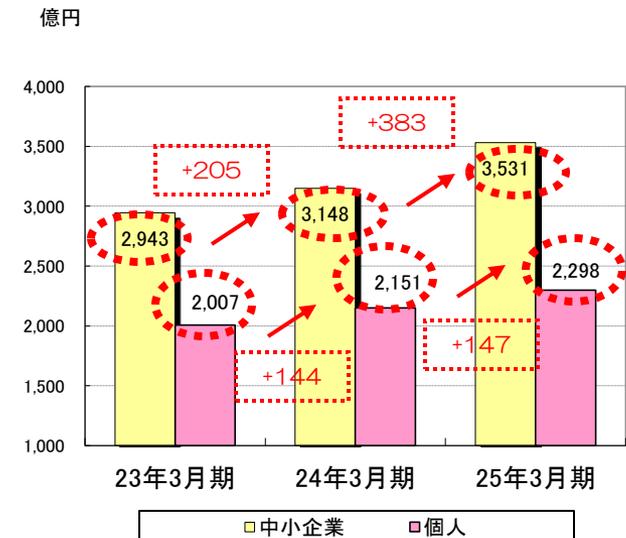
貸出金残高の推移



地元*貸出金残高の推移



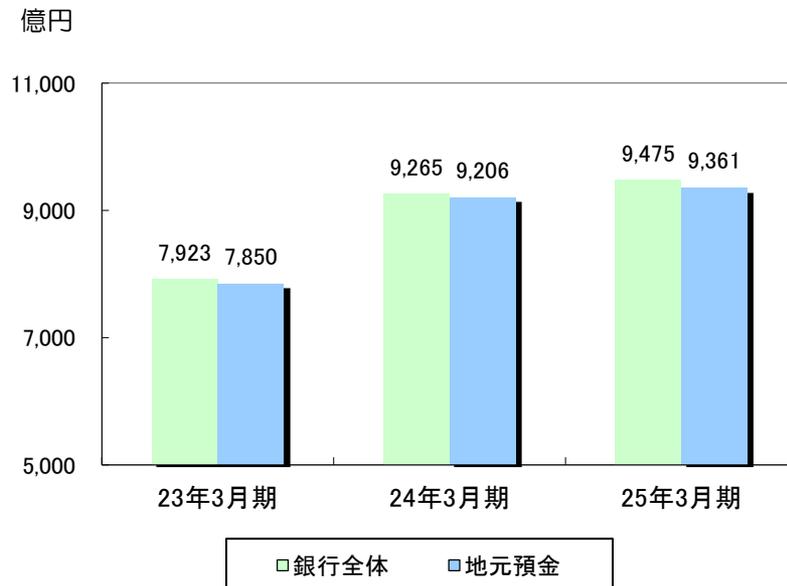
中小企業・個人向け貸出の推移



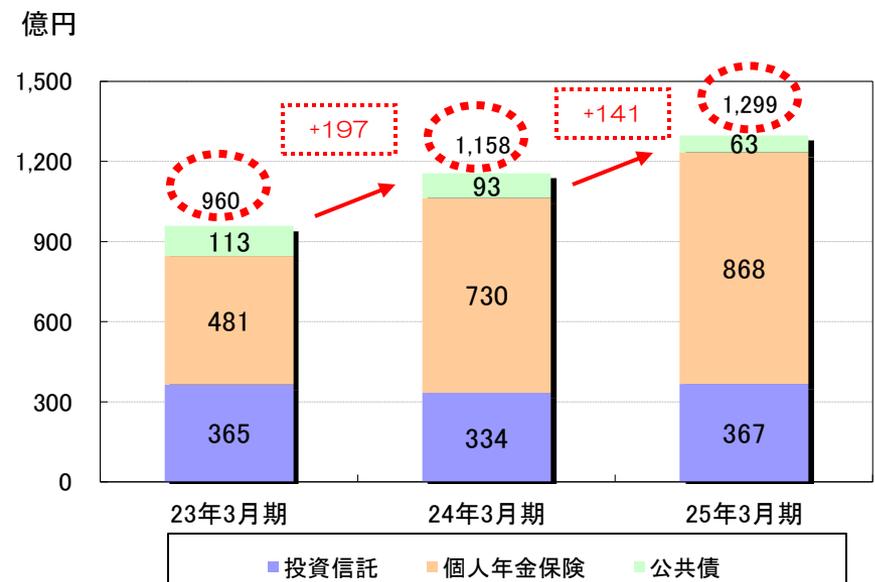
預金と預り資産の状況

- ◆預金については、「岩国錦帯橋空港開港記念定期預金」や「新型年金定期預金」のキャンペーン預金商品がご好評をいただき、残高は地元中心に前年同期比209億円増加しました。
- ◆また、地域のお客さまの多様化する資産運用ニーズにお応えするため、県内外13ヶ所にマネープラザを設置し、専門スタッフがきめ細かく対応することで、預り資産残高は、前年同期比141億円増加しました。

銀行全体・地元預金残高の推移

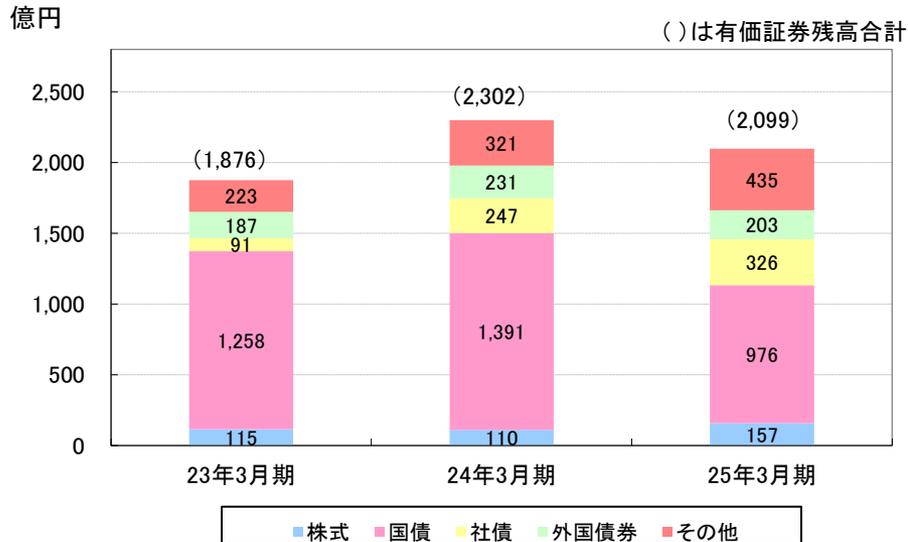


預り資産残高の推移

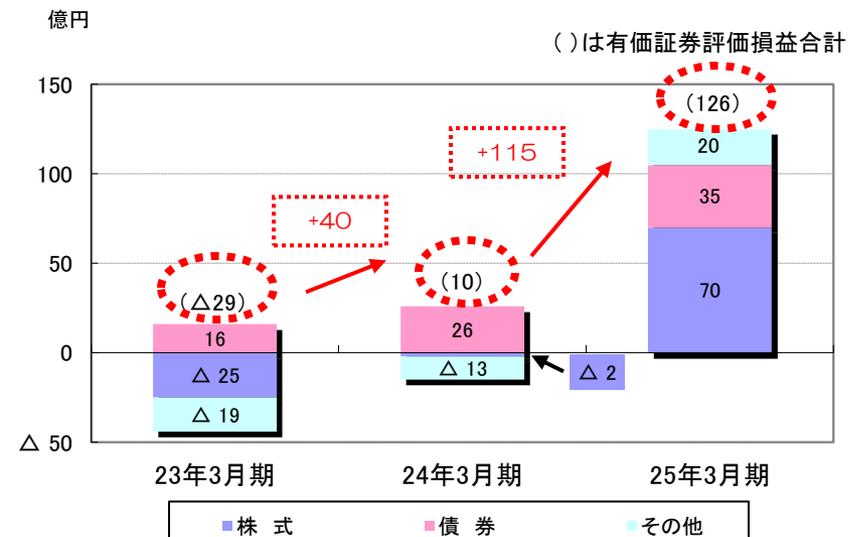


- ◆有価証券評価損益は、リーマンショック後の評価損の計画的な圧縮に取り組んだ結果、平成24年3月期に含み損を一掃し、平成25年3月期には、評価益が前年同期比115億円増加しました。
- ◆有価証券運用は、金利リスクをコントロールするため、国内債券を中心にデュレーションの短期化に努めており、今後も安全性を重視した運用を継続していく予定です。

有価証券残高の推移



その他有価証券評価損益の推移

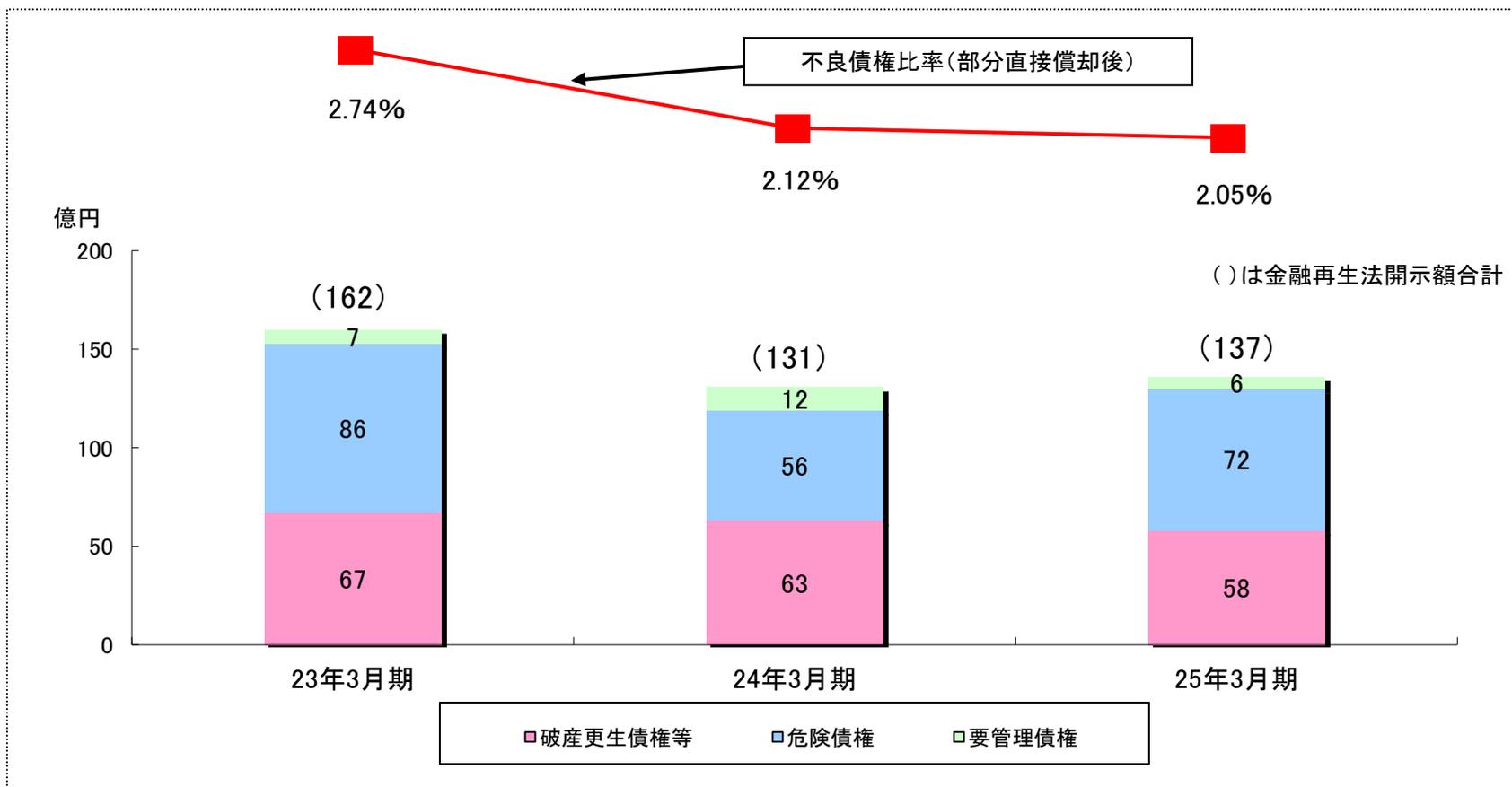


その他有価証券（国内債券）修正デュレーションの推移

H23年3月期	H24年3月期	H25年3月期
5.85年	5.02年	4.71年

◆金融再生法基準での開示債権比率は、前年同期比0.07ポイント低下し、2.05%となりました。

金融再生法開示額と不良債権比率の推移



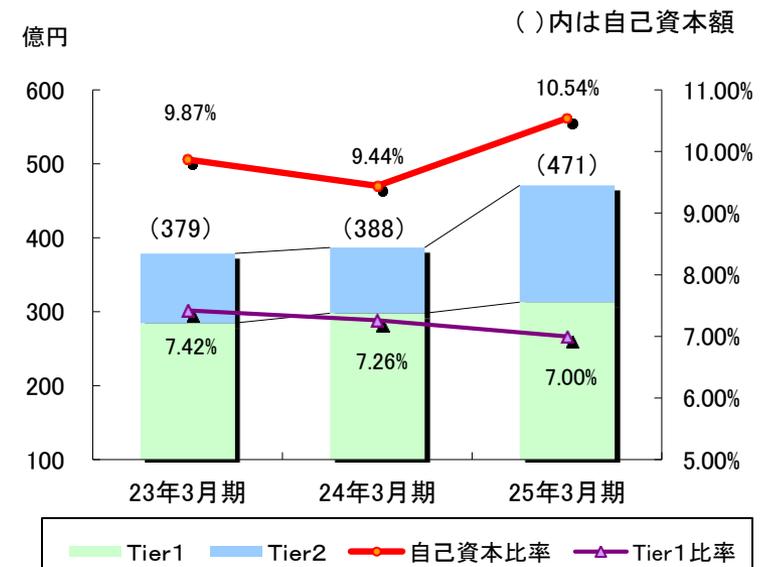
自己資本比率の推移

- ◆ 単体自己資本比率（国内基準）は、前年同期比では1.10ポイント向上し、10.54%となり、引続き国内基準である4.00%を大きく上回る水準を維持しています。
- ◆ 普通株式や内部留保としてコアとなる自己資本（=Tier1）は、順調に増加しており、今後も利益確保による積上げを行う方針です。

自己資本およびリスク・アセット等（単体）の推移

(単位：億円、%)

	23年3月期	24年3月期	23/3比	25年3月期	24/3比
自己資本	379	388	8	471	83
Tier1	285	298	12	313	14
Tier2	94	89	△4	158	68
リスクアセット	3,847	4,110	263	4,470	359
自己資本比率 (%)	9.87	9.44	△0.43	10.54	1.10
Tier1比率 (%)	7.42	7.26	△0.16	7.00	△0.26



今後の取組みについて

- ◆「中小企業金融円滑化法」の終了後の地域金融の円滑化に向け、当行では、「地域密着型金融推進委員会」（委員長：頭取）を新設し、①お客さまのライフステージ等に応じたソリューションの提案と②地域の面的再生に向けた取組みを強化して参ります。

(i) 創業・新規事業開拓支援

- 中小企業診断士等の外部機関の連携を含む創業セミナー開催
 - －（さいきょう創業塾2013）全6回34時間 参加者23名（平成25年1～3月）
- 創業支援専用カードローン『さいきょうエスワン』の取扱開始（平成25年3月）
- ソーシャルビジネスアイデアコンテスト『さいきょうS1グランプリ2013』を開催予定
 - ※4月30日現在、32社の応募（平成25年5月より1次選考開始）

「さいきょう創業塾2013」



(ii) 成長段階における支援

- 医療介護機関への積極的な支援～以下の取組みを中国財務局より顕彰されました（平成25年2月）
 - ◇顕彰内容： 「高齢化先進地区再生プロジェクト支援」
 - ◇概要： 廃校となった分校を利用した複合型コミュニティケア施設の開設案件に対してプロジェクト支援と金融支援
- 伝統産業育成支援
 - － ミュージックセキュリティーズ株式会社と業務提携を行い、地元酒蔵の資金調達、販売支援
- 中小企業基盤整備機構と業務提携し、インドセミナー、インドネシアセミナー開催

インドセミナー



(iii) 経営改善・事業再生・業種転換等の支援

- 中小企業支援ネットワーク強化事業によるコンサルティング実施
 - － 中小企業再生支援協議会、企業再生支援機構連携事業 ※24年度152回実施
- 再生ファンドによる資金調達支援
 - － 「さいきょう地域支援ファンド」設立
- 農林漁業の6次産業化支援
 - － 「さいきょう農林漁業成長産業化ファンド」設立予定

②地域の面的再生に向けた取組み例

地域ビジネス

■産学公金連携による新たな地域ビジネスの創造を目指す

- ・「さいきょうJ E養成塾」（若手経営者育成プログラム）を開講
- ・徳山大学との地域貢献共同研究の実施
- ・宇部市キューブサロン（産官学研究開発促進特区事業）の事務局就任
- ・第6回山口県応援ファンド「はつらつ長州」寄付金を贈呈
 - － 平成24年度実績 3先 140万円（累計 18先 665万円）

地域教育

■地域の金融教育、次世代教育に積極的に取り組む

- ・「西京シニア・スプリング・カレッジ」を開催
- ・徳山高専、「産業論」への講師派遣・「産学連携講義」開講
- ・「さいきょう“おもしろお金ゼミナール”」、「西京キッズ銀行」開催

地域スポーツ・文化振興

■スポーツ・文化を通じて地域の活性化に貢献する

- ・「周南市文化会館30周年記念スペシャルコンサート」へ地元小学生を招待
- ・第23回公益財団法人西京教育文化振興財団の助成金交付
 - － 平成24年度 12先 280万円（累計 148先 6,110万円）
- ・ACT SAIKYOチャレンジ2013日韓親善バドミントン国際マッチ開催
 - － 2日間で554名の方がご来場



さいきょう“おもしろお金ゼミナール”

西京教育文化振興財団助成金交付式



ACT SAIKYOチャレンジ2013
日韓親善バドミントン国際マッチ開催



復興支援定期預金の取扱いについて

- ◆当行は、個人のお客さまを対象とした預入期間1年ものの定期預金「復興支援定期預金」を、適用金利0.40%（税引前）で発売しています。

また、本定期預金は東日本大震災の復興支援や山口県内の災害救援、社会福祉活動等にお役立ていただくことを目的に、本定期預金のお預入総額の0.01%相当額（西京銀行が拠出）およびお客さまよりお寄せいただいた募金の総額を「日本赤十字社」に寄付いたします。

その他、赤十字事業の一助として、平成25年5月8日（水）の世界赤十字デーを皮切りに各地域での献血活動等も実施しています。

～あなたの定期預金が、復興支援につながります～

さいきょう 復興支援定期預金

（日本赤十字サポート）

／ 新たなご資金でお預入れをされる個人のお客さまに限り、／

年0.4%

（税引前）

スーパー定期預金（1年もの）

お取扱期間 平成25年4月8日（月）～平成25年9月30日（月）

この定期預金への預入総額のうち、累計500億円に達するまでの金額について、その0.01%（最大500万円）を西京銀行の負担で「日本赤十字社」へ寄付いたします。

この寄付金は、日本赤十字社を通じて東日本大震災復興への支援や今後の山口県内での災害救援、社会福祉活動等の赤十字事業へ投立られます。なお、お客さまには寄付金のご負担はございません。

西京銀行各支店窓口で募金箱を設置いたします。平成25年10月下旬頃に寄付金とお客さまからお寄せいただいた募金をあわせて日本赤十字社山口県支部へ寄付いたします。

平成25年5月8日世界赤十字デーを皮切りに山口県内各地区で献血を予定しています。

0120-24-0606 (通話料別) <http://www.saikyobank.co.jp/> 西京銀行